

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	スポーツ実習Ⅱ(剣道)	1	船水 学	
平成25年度以前	スポーツ実習Ⅱ(剣道)	1		
教職				教職
<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 剣道の理念に基づき、日本の伝統文化を学び、かつ全日本剣道連盟の段位取得を目指す。 本実習では、初段取得を目指すとともに有段者に於いてはさらに昇段を目標に、剣道実技、日本剣道形、筆記試験対策を学ぶ。 警察官志望者、教員志望者の履修を勧める。				言語 共通
<b>授業の概要</b> 授業では剣道の基本動作、対人技能、日本剣道形を理論を通して修得する。				専門基礎
<b>授業計画</b> 第1回：ガイダンス(授業内容、評価方法、段位取得の説明) 第2回：剣道の歴史、理念、特性 第3回：基本動作①礼法、構え、刀法、所作 第4回：基本動作②足さばき、素振り 第5回：基本動作③発声、間合い、基本の打ち方、受け方 第6回：対人技能①攻め合い、打ち込み技 第7回：対人技能②連続技、払い技、かつぎ技、引き技 第8回：対人技能③応じ技 第9回：対人技能④立ち合い(試合形式) 第10回：対人技能⑤立ち合い(審査形式) 第11回：日本剣道形 第12回：日本剣道形 第13回：剣道理論(筆記対策) 第14回：剣道理論(筆記対策) 第15回：模擬審査(実技、形)				法律一般 政治行政 経営法務
<b>履修上の注意事項</b> 段位審査は本実習とは別に行います。防具、竹刀は学校の用具を使用する。 剣道着・袴は希望者については購入、その他は運動の出来る格好で受講する。				スポーツ福祉
<b>テキスト</b> 資料を必要に応じて配布する。				演習
<b>参考書・参考資料等</b> 参考書 「剣道講習会資料」全日本剣道連盟発行				25年度以前 共通科目
<b>学生に対する評価</b> 出席、受講態度、実技修得状況にて評価する。				